

東京オリンピック・パラリンピック 一部競技が幕張メッセで開催！

平成27年6月8日に開催された国際オリンピック委員会（IOC）理事会において、幕張メッセ（千葉県美浜区）が2020年東京オリンピックのフェンシング、レスリング、テコンドーの会場に承認されました。

千葉県では、昨年7月に「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の基本方針」を策定しました。基本方針では、「キャンプ誘致とスポーツ振興による地域の活力づくり」、「人と物のスムーズな流れの確保」、「魅力ある観光地づくりとおもてなしの向上」など、5つの「取組の方向性」を定めています。また、取組を進めるに当たっては、企業・団体・大学・行政などが、互いに取組の方向性を共有しながら連携し、相乗効果を生み出していく「オール千葉」体制を構築することとしました。

この方針を受けて、昨年11月に、経済、交通、観光、スポーツ、文化、国際交流、行政の各分野

を代表する方々の御協力を得て、「2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA推進会議」を設立し、具体的な取組について検討を行い、このたび「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」を取りまとめました。

本戦略に基づき、企業・団体・大学・行政などがそれぞれ主体的かつ連携した「オール千葉」体制で取組を進め、次世代に誇れる魅力あふれる“CHIBA”を作り上げてまいります。



フェンシング



レスリング



テコンドー

千葉県議会議員

田村耕作NEWS

2015
夏号

<http://tamura-kosaku.com> www.facebook.com/kosaku.tamura [drkosakutamura](https://twitter.com/drkosakutamura)



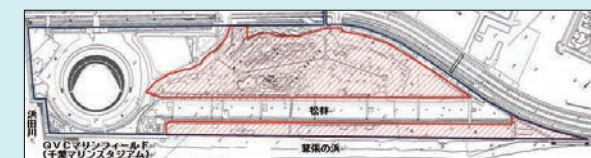
千葉県議会6月議会
6月10日（水）から7月3日（金）までの23日間、千葉県議会6月定例会が開催されました。当局より、条例改正や契約の変更など議案17件が提出され、いずれも可決されました。その他、報告14件、請願11件、陳情3件が提出されました。また議会からは、27件の発議（意見書）が提出され、私ども公明党が提出した「認知症への取り組みの充実強化に関する意見書」など9件が可決されました。

「（仮称）JFAナショナルフットボールセンター」を県立幕張海浜公園に！

公益財団法人日本サッカー協会（JFA）から、「協会の基幹施設として、サッカー日本代表の活動をはじめとし、競技力向上、普及、教育、研究、情報発信、地域貢献活動を行う拠点となる世界に誇れるフットボールセンターを県立幕張海浜公園に設置したい」との要望がありました。

千葉県としても、サムライブルーやなでしこジャパンといった一流選手の躍動感あふれるプレーに接することができるなど子ども達の夢を育む施設であり、アウトドア

スポーツ・レクリエーション拠点として公園の整備を図るという千葉県の考え方に合致し、幕張地区の賑わい創出や活性化等の効果も期待されることから、「（仮称）JFA ナショナルフットボールセンター」の設置を前向きに検討していくことになりました。



代表質問

公明党を代表して、藤井弘之議員（松戸市選出）が6月17日（水）に代表質問を行いました。我々公明党に寄せられた様々な意見・要望を盛り込み幅広い観点から質問しました。

我々公明党が推進してきたドクターヘリなど救急医療体制の整備に関連して、災害時の精神疾患に対応するための医療チームであるDMATの整備・充実について質問したところ、当局より前向きな答弁が示されました。一人でも多くの命を救うために、今後とも救急医療体制の充実・強化に取り組んでまいります。



皆様の県政に対するお声をお寄せください！

千葉県議会議員

田村こうさく

千葉県議会 公明党控室 〒260-0855 千葉市中央区市場1-5

TEL 043-223-2540 FAX 043-227-9162

Email : kosakutamura@gmail.com <http://tamura-kosaku.com> www.facebook.com/kosaku.tamura [drkosakutamura](https://twitter.com/drkosakutamura)

一般質問

公明党を代表して、横山秀明議員（八千代市選出）が一般質問を行いました。

横山議員が公約に掲げる東葉高速鉄道の運賃値下げについて粘り強く訴えるとともに、八千代市内の大学施設を利用したスポーツ振興についても要望・提案しました。

隣接する八千代市の活性化は花見川区にとっても大事なものとなります。

健康福祉常任委員会

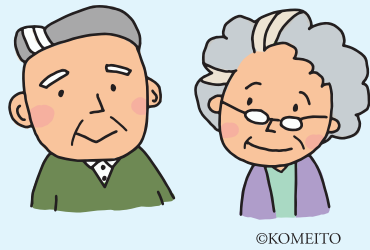
私が所属する健康福祉常任委員会が6月26日（金）に開催されました。健康福祉常任委員会は、医療を含む社会保障全般に関連する案件を審査するものですが、議案、請願、意見書などの審査とともに、所管する事項について広く質問することが出来ます。

※（委員会写真）



医療と介護の連携拠点 認知症疾患医療センター 早期設置を！

今回、「認知症への取り組みの充実強化に関する意見書」を提出させて頂きました。それに関連して、健康福祉常任委員会で国の認知症対策（新オレンジプラン）を受けての千葉県の対応について質問しました。



高齢化の進捗に伴い、認知症患者は増加する一方であります。認知症が進行すると、患者本人のみならず、家族や介護事業者などへの負担も過重なものとなります。認知症患者数は今後増大し、2035年には700万人に達するとの推計も示されています。国を挙げての認知症対策が待ったなしで求められています。（※表①）

表①

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）による速報値

年	平成24年 (2012)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成52年 (2040)	平成62年 (2050)	平成72年 (2060)
各年齢の認知症有病率が一定の場合の将来推計人数/（率）	462万人 15.0%	517万人 15.7%	602万人 17.2%	675万人 19.0%	744万人 20.8%	802万人 21.4%	797万人 21.8%	850万人 25.3%
各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計人数/（率）		525万人 16.0%	631万人 18.0%	730万人 20.6%	830万人 23.2%	953万人 25.4%	1016万人 27.8%	1154万人 34.3%

今回の委員会では、認知症の早期発見・早期治療のための体制整備として、認知症疾患医療センター等の整備について質問するとともに、早期整備を要望しました。認知症の疑いのある方については、速やかに鑑別診察が行われることが必要であり、都道府県ごとに鑑別を行う医療機関の整備を行うことになりました。とりわけ「基幹型」とよばれる病院（総合

病院）の整備は全国で13か所にとどまっております。認知症対策を進めていくうえで、これらの病院の設置は急務であります。千葉県としては、「地域型」とよばれる病院（単科精神科病院）が整備されていない地域への対応後、「基幹型」の病院の整備に取り組む旨の答弁がありました。（※表②）

表②

●認知症の疑いがある人については、速やかに鑑別診断が行われることが必要。認知症疾患医療センターについては、都道府県ごとに地域の中で担うべき機能を明らかにした上で、認知症疾患医療センター以外の鑑別診断を行うことができる医療機関と併せて、計画的に整備を図っていく。【厚生労働省】

		基幹型	地域型	診療所型
設置医療機関		病院（総合病院）	病院（単科精神科病院等）	診療所
設置数（平成26年12月15日現在）		13か所	269か所	7か所
基本的活動圏域		都道府県圏域	二次医療圏域	
専門的医療機能	鑑別診断等	認知症の鑑別診断及び専門医療相談		
	人員配置	・ 専門医（1名以上） ・ 専任の臨床心理技術者（1名） ・ 専任の PSW又は保健師等（2名以上）	・ 専門医（1名以上） ・ 専任の臨床心理技術者（1名） ・ 専任の PSW又は保健師等（2名以上）	・ 専門医（1名以上） ・ 臨床心理技術者（1名：兼務可） ・ 専任の PSW又は保健師等（1名以上：兼務可）
	検査体制 （※他の医療機関との連携 確保対応で可）	・ CT ・ MRI ・ SPECT（※）	・ CT ・ MRI（※） ・ SPECT（※）	・ CT（※） ・ MRI（※） ・ SPECT（※）
	BPSD・身体合併症対応	空床を確保	急性期入院治療を行える医療機関との連携体制を確保	
	医療相談室の設置	必須		－

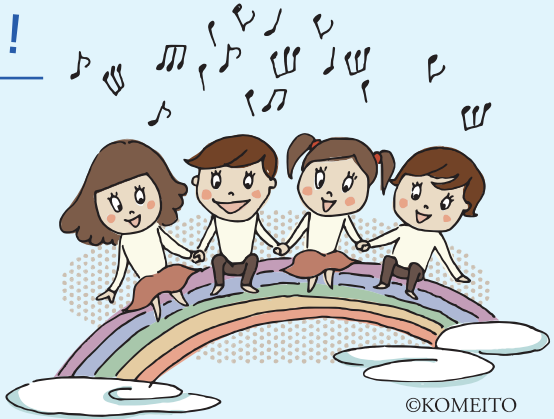
【事業名】認知症疾患医療センター運営事業

【実績と目標値】2014（平成26）年度見込み 約300か所 ⇒ 2017（平成29）年度末 約500か所

※ 基幹型、地域型及び診療所型の3類型の機能やその連携の在り方を見直し、地域の実情に応じて柔軟に対応できるようにする。

情緒障害児短期治療施設の早期設置を！

虐待や学校での人間関係などの要因で感情の統制が困難になった児童について、心理療法や生活全般にわたる指導を通して社会復帰を目指す専門施設となる情緒障害児短期治療施設の検討状況と今後の取り組み予定について質問しました。



プレミアム付き宿泊券を販売！

千葉県内の宿泊施設をお得に利用できる「プレミアム付き宿泊券」を発行します。千葉県内の300を超える参加宿泊施設で使える額面4,000円の宿泊券を2,000円で販売します。ぜひこの機会に千葉で泊って、ゆっくりと千葉をお楽しみください！

販売期間 第1期 平成27年6月24日（水）【済】
第2期 平成27年9月1日（火）

利用期間 第1期 平成27年7月1日（水）～10月31日（土）【済】
第2期 平成27年9月1日（火）～平成28年1月31日（日）

販売方法 全国の主要コンビニエンスストア（※）の端末での販売のほか、チーバくん物産館、観光イベントの会場などで販売
※セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルKサンクス

販売枚数 合計13万枚

購入・利用制限 第1期・第2期を通して1人10枚まで

問 合 先 TEL (043) 201-6334 ちばプレミアム付き宿泊券事務局

